

タイ個人情報保護法に基づくプライバシーポリシー追補事項

タイの個人情報保護法 (Thailand's Personal Data Protection Act) 「B.E. 2562 (2019)」およびそれ以降の改正法と下位法令 (以下、「タイPDPA」といいます。) に基づく個人情報の取り扱いにおける、当社プライバシーポリシーの追補事項は以下のとおりです。

1. 個人情報の利用目的

プライバシーポリシー「第1-2 個人情報の利用目的」に記載の内容は、契約履行 (セクション24 (3) PDPA) および当社の正当な利益の利用となります (セクション24 (5) PDPA)。

2. 取得する個人情報の種類

プライバシーポリシー「第1-3 取得する個人情報の種類」に記載の他、市民ID番号、財務情報、収入情報が含まれます。また、当社主催のセミナー活動に関連して収集される個人情報として、セミナー参加者の氏名、生年月日、性別、パスポート情報その他のコンタクト情報も含まれます。これらの情報を処理できない場合、登録を完了することができません。

3. 個人データの第三者への提供および第三者からの取得

プライバシーポリシー「第1-4 個人データの第三者への提供および第三者からの取得」の記載に加え、個人情報を、ホテル、クラウドサービス事業者、その他のサービス事業者、公共団体 (法律または政府の要請による) に開示する場合があります。更に開示先が追加的に必要となる場合は、適用される法令に基づき、当該変更をお知らせします。

4. センシティブ情報の取扱い

プライバシーポリシー「第1-8 センシティブ情報の取扱い」に記載の他、人種、血統、政治的意見、宗教または哲学の信条、犯罪歴、身体障害、遺伝情報、生物学的情報、その他データ主体に影響を与える情報 (タイ個人データ保護委員会の見解に準拠する) が含まれます。当社はセンシティブ情報 (医療記録、病歴、喫煙習慣) を、タイ保険委員会の規制を含む関連法で要請される場合、プライバシ

ーポリシー「第1-8 センシティブ情報の取扱い」に記載されている目的でセンシティブ情報として処理します。

5. 個人情報保護法に基づく保有個人データに関する事項の通知、開示・訂正等・利用停止等

プライバシーポリシー「第1-9 個人情報保護法に基づく保有個人データに関する事項の通知、開示・訂正等・利用停止等」に記載の他、タイPDPAが規定するデータポータビリティに関する権利、個人情報を消去する権利、個人情報の処理に異議を唱える権利、同意を取り消す権利に適切に対応します。

さらに、苦情等が解決されない場合、タイ個人データ保護委員会に公式な苦情を申し立てる権利があります。

6. 個人データの安全管理措置の概要

プライバシーポリシー「第1-10 個人データの安全管理措置の概要」に記載の他、保管期間については収集の目的が残っている限り、当該個人情報を保持します。その後、法律で義務付けられている場合、または会社の利益を保護する場合を除き、会社は当該個人情報を消去および破棄します。

タイPDPAまたはその他適用される法律で許可されている場合に限り、当社の所在地である日本の他にタイPDPAと異なるデータ保護法を有するタイ国外の受領者に個人情報を域外移転する場合があります。域外移転は、プライバシーポリシーに従い、個人情報の機密性、完全性、および可用性が確保される適切な管理措置が認められない限り行いません。